

(様式1)

提案機関 農研機構 九州沖縄農業研究センター 番号 1

## 「農業新技術2014」の選定候補技術(研究成果)

① 研究成果名	良食味でいもの外観が優れる食用カンショ「ベにはるか」
② 開発担当機関	九州沖縄農業研究センター
③ 開発年度及び関連するプロジェクト、競争的資金名	1996～2006年度(交付金)
④ 技術開発の目的	食用カンショの主力品種「高系14号」より食味が優れ、線虫抵抗性をもち、皮色や形状などのいもの外観が優れた食用品種を育成する。
⑤ 研究成果の概要	カンショ「ベにはるか」は「高系14号」より蒸しいもの糖度が高く、食味は良好である。いもの外観が優れ、線虫抵抗性を示し、栽培も平易である。
⑥ 研究成果を導入した場合のメリット(経営試算に関する情報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収量性は「高系14号」並であり、A品率が高いので、農家は良品を多く出荷できる。</li> <li>・消費者の嗜好にマッチした、しっとり系の肉質で甘みが強いカンショを生産でき、食用カンショ市場の活性化、加工による高付加価値化の取り組みやカンショの消費拡大などに役立つ。</li> <li>・タバコの廃作に伴う代替作物として導入しやすい。</li> </ul>
⑦ 研究成果の普及対象と普及見込み(※注1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の青果用カンショ栽培地域。特に関東以西の「高系14号」(約6,000ha)および関東の「ベニアズマ」(約8,500ha)の一部置き換え</li> <li>・タバコ等の夏畑作物栽培地域における新規作付</li> </ul>
研究成果の普及目標(※注1)	・全国で約2,000ha。
⑧ 研究成果の現在の普及状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約500ha(鹿児島:110ha、大分:80ha、千葉:120ha、茨城:200haなど)</li> <li>*九州研サツマイモ育種グループ調べ</li> </ul>
⑨ 研究成果の普及の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県の奨励品種(2006年)。茨城県でも奨励品種に採用予定。</li> <li>・「甘太くん」、「かのや紅はるか」、「紅優甘」などの商標で産地化が進められている。</li> <li>・大分県ではアクションプランに基づき、ブランド化を推進中。</li> <li>・普及拡大に向けて(独)農研機構が各種イベント、講習会などの取り組みを実施中。</li> </ul>
⑩ 関係する施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する施策を選択してください。</li> <li>① 水田・畑作等の生産資源の最大限の活用</li> <li>② 国産小麦・米粉の利用拡大</li> <li>③ 飼料自給率の向上</li> <li>④ 食品の安全性の向上</li> <li>⑤ 農産物の加工・業務用需要対応</li> <li>⑥ 需要に応じた生産拡大</li> <li>⑦ 農産物の付加価値の向上や輸出促進</li> <li>⑧ 生産資材のコスト縮減</li> <li>⑨ バイオマスを基軸とする新たな産業の振興</li> <li>⑩ 集落機能の維持と地域資源・環境の保全(鳥獣害対策を含む)</li> <li>⑪ 地球温暖化対策への貢献(省資源・省エネルギーも含む)</li> <li>⑫ その他(緊急性のある課題等)</li> </ul>
⑪ 本技術(研究成果)に関連するURL、マニュアル等の作成状況	<a href="http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2006/konarc06-08.html">http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2006/konarc06-08.html</a> <b>独自のマニュアルはない。一部のJAなどではマニュアルを作成し、産地化に取組中。</b>
⑫ 本技術の問い合わせ先(※注2)	九州沖縄農業研究センター畑作研究領域サツマイモ育種グループ Tel (0986) 24-4270(代表)
⑬ 該当する分野	[普通畑作物]
⑭ 普及が期待できる主な都道府県(希望意見照会先)	・食用カンショ生産県全般(茨城、千葉、静岡、徳島、熊本、宮崎、鹿児島、など)

別紙 関連

<p>⑮ その他補足情報(技術を導入する際の留意事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期肥大性はそれほど高くないので早掘栽培には向かないことが多い。</li> <li>・蒸し芋の糖度が高く良食味の品種で、貯蔵によりさらに糖度が上がり甘みが増すが、貯蔵期間が長くなると粘質化が進みすぎることによる商品性の低下が生じることがある。</li> <li>・いもの「ヤニ」が出やすいので、外観品質を重視する場合には収穫・調整時に留意が必要。</li> </ul>
<p>⑯ 9月末からの変更点(※該当する場合に記載)</p>	

注1)「⑦研究成果の普及対象と普及見込み、普及目標」は、「農業新技術2014」の普及計画及び普及目標の策定の際の参考とします。

注2)本問い合わせ先は、基本的に、当局からの問い合わせ及び都道府県への意見照会(10月)の際の農業革新支援専門員からの問い合わせ先として使用させていただきます。

注3)研究成果ごとにA4サイズにまとめてご提出願います(2ページまで)。また、必要に応じて、参考資料の添付をお願いします。

# 良食味でいもの外観が優れる食用カンショ「べにはるか」

様式2  
(概要図)

カンショ「べにはるか」は「高系14号」より蒸しいもの糖度が高く、良食味。いもの外観が優れ、線虫抵抗性で栽培も平易。

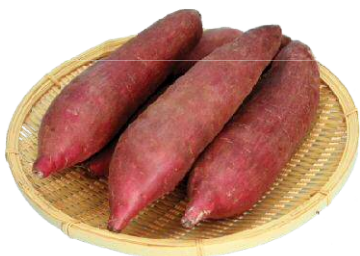
## 研究開発の背景

食用カンショの従来主力品種「高系14号」より良食味で、線虫抵抗性や皮色、形状などいもの外観にも優れた食用品種の育成が求められていた。

## 研究成果の内容

### 芋の形が良くそろい、歩留りも良い

いもの表面がなめらかで、形が良くそろうのが特長です。品質のよいいものが多く取れるので収益の面でも有利です。

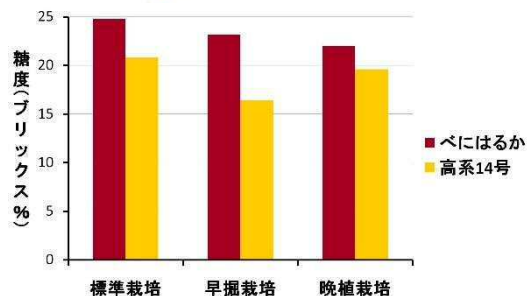


### 焼き芋以外にも様々な用途に

「べにはるか」はペースト等に加工しやすく洋菓子、和菓子などの加工にも向きます。

### 甘さが強くなめらかな食感

「べにはるか」は糖度が高く、しっとりなめらかな食感が特長です。



(高系14号は食用サツマイモの代表的品種)

導入  
メリ  
ット

- ・収量性は「高系14号」並であり、A品率が高いので、農家は良品を多く出荷できる。
- ・消費者の嗜好にマッチした、しっとり系の肉質で甘みが強いカンショを生産できる。
- ・タバコの廃作に伴う代替作物として導入しやすい。

## 期待される効果

良品生産による販売単価の向上を通じて、農家所得の増加や食用カンショ市場の活性化、加工による高付加価値化の取り組みやカンショの消費拡大などに役立つ。

開発機関: (独)農研機構 九州沖縄農業研究センター

導入をオススメする対象  
カンショ栽培農家、タバコ等夏畑作物代替